

腕のブツブツが目立ってきました
毛孔性苔癬(もうこうせいたいせん)かもしれません
中野皮膚科クリニック
http://www.nakano-derma.com/

毛孔性苔癬(もうこうせいたいせん)は二の腕から肘にかけて、軽いかゆみなどにブツブツとした丘疹ができる皮膚疾患です。詳しい症状や治療法については、日本皮膚科学会皮膚科専門医、中野皮膚科クリニック院長の松尾光馬先生に聞きました。

「この疾患は、小学生から思春期にかけて多く発症します。また、素入り軟膏を処方します。尿素やサルチル酸には、皮膚の角質を除去する効果があります。また、かゆみなどがある場合はステロイド剤やヒタミシD3で炎症を抑えます。妊娠の可能性がない場合はヒタミシAの内服薬を処方することもあります。」

「そのままにしていって重篤な状態にはなりませんが、ザラツキが目立って気になるようなら皮膚科を受診しましょう。治療には外用薬として、ザラツキが気になるようなら皮膚科を受診しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「治療中の注意は？」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」

「乾燥する秋冬は悪化しやすいので、発症している部分を外用薬で保湿しましょう。」



ザラツキが気になって無理に押し出そうとしたり、ひっかいたりすると炎症を起す場合も。まずは皮膚科の医師に相談を。

中野皮膚科クリニック
(マルニビル5階)

丸井
ファミリ
マート

丸井
ファミリ
マート

丸井
ファミリ
マート

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	○
15:00 ~ 19:00	○	○	○	○	○	17:00 まで受付

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

問い合わせ
中野皮膚科クリニック
中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分
☎03-5342-0722